

建築人

2022
3

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.693





建築人

2022.03 No.693

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「こども本の森 中之島」2019年

第40回 大阪都市景観建築賞 大阪市長賞 受賞作品

設計：安藤忠雄建築研究所

施工：竹中工務店

撮影：安藤忠雄建築研究所

大阪を南北に貫く御堂筋と交わり、大阪の歴史・文化の中心として生き続けてきた中之島。「こども本の森 中之島」は、その中之島に新たに誕生した、子どもたちが本と出会い、本を楽しみ、本に学ぶ施設です。彼らが読書体験を通して、豊かな感性を育み、自ら考える力を身に付ける場となることを目指しています。

大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

今回は、大阪中心部の魅力溢れる場所で、水都大阪を感じさせる中之島境界を取り上げたい。

かつて大阪は、人口が200万人を超えて日本一の都市になった時期があった。この頃は大大阪と呼ばれ、境界には文化遺産と言える建築が数多く誕生した。辰野金吾氏による設計で1903年に竣工した「日本銀行大阪支店」を皮切りに、大阪府初の図書館である「大阪府立中之島図書館」、市民の寄付によって建てられた「大阪市中央公会堂」などがある。

近年には更に魅力的な建築が増えてきました。シーザー・ペリ氏が地盤面下に設計した「国立国際美術館」や、黒川紀章氏の設計による「大阪国際会議場」、日建設計によるツインタワーで計画された「中之島フェスティバルタワー」。その後竣工した建物では、隈研吾氏+NTTファシリティーズによる「ABC朝日放送新本社ビル（ほたるまち）」や、安藤忠雄氏がこどもたちに無限の創造力や好奇心を育てたいという想いでつくった「こども本の森 中之島」。そして遠藤克彦氏が大阪市制100周年記念事業の一つとして設計した「大阪中之島美術館」が2021年に竣工し、時代を経て魅力ある建築がこの地に集合した。

この中之島境界は、新旧の建築が混在することによる新たな発見や、大川の水面に映し出された風景を眺めるだけでも飽きることなく楽しめる。大阪のこちエエのベストな場所と思う。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「ユニソン大阪事業所」

設計：竹原義二／無有建築工房

施工：伊藤嘉材木店

「mass and lightness」

設計：マニエラ建築設計事務所

施工：美建設

「並びの住宅」

設計：design SU

施工：コムウト

11 インフォメーション・事業案内

12 動静レポート

13 Topics

14 記憶の建築

「聖母女学院（現・香里ヌヴェール学院）」1932年
90年前のタイム・カプセルが開封されて / 松隈 洋

建築人 No.693 2022年3月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部

部門長：飯田英二

委員長：荻窪伸彦（編集人代表）

編集人：梅田武宏 笠井志保 河合哲夫 茂龍一之

大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義 三谷勝章

武藤優哉 若江直生

事務局：山本茂樹 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和4年3月1日発行

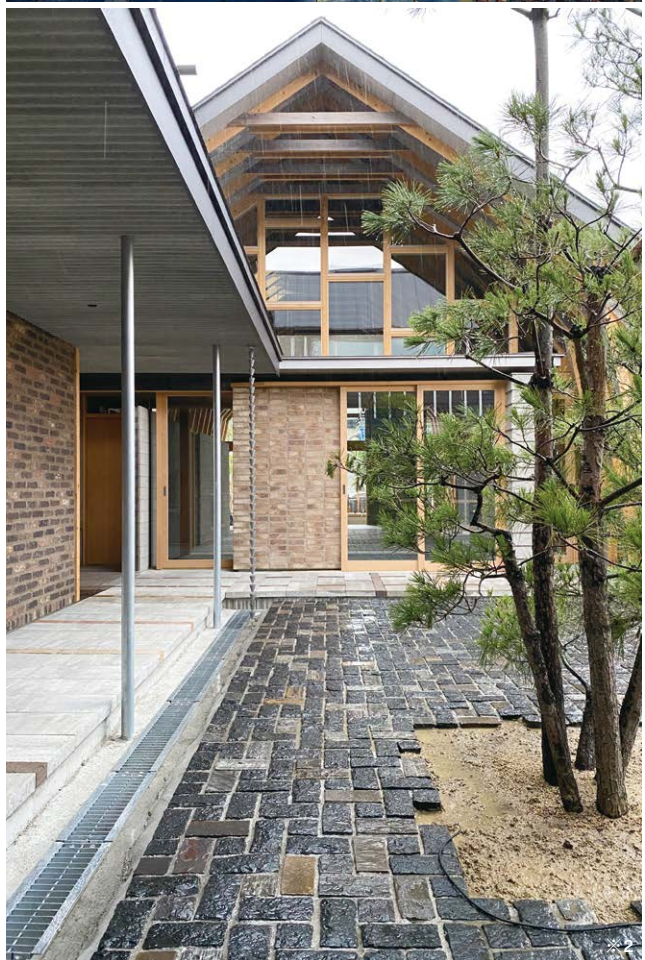
発行人：会長／岡本森廣

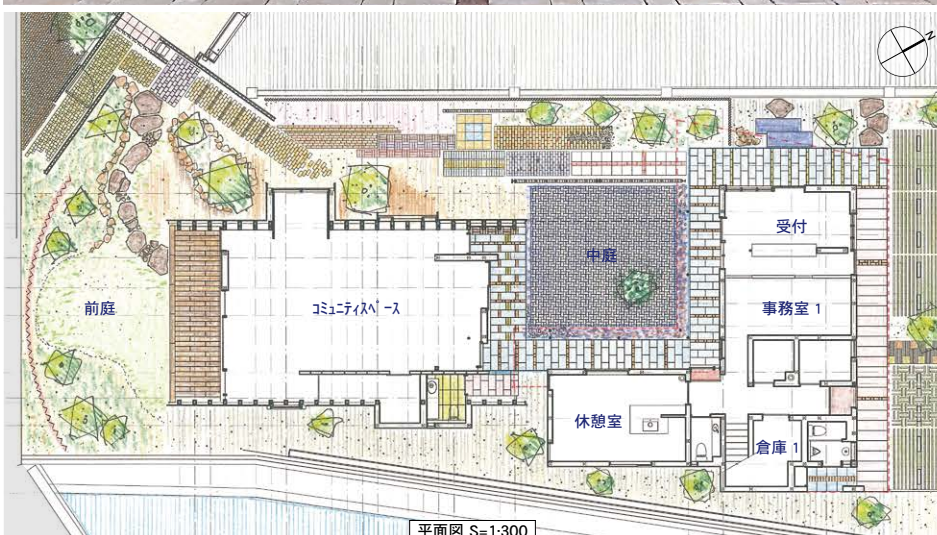
発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961

Gallery

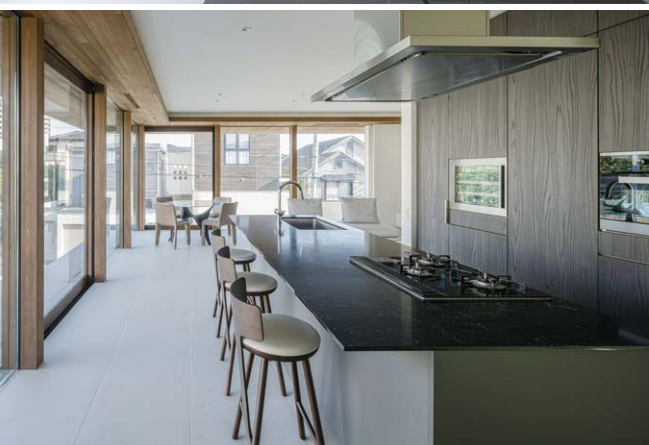




門真南駅近くの場所に景観エクステリアメーカー『ユニソン』の大阪拠点を新築した。事務所とショールームの機能が求められ、最大限の魅力と効果を発揮できるよう中庭を囲う分棟配置とした。建物と外構の関係と同様に景観・環境としての、街に対する建築の関わり方を考え、主な取り扱いのセメント製品が魅力的に見えるよう、内外一体となる建築を目指した。どちらの棟も幅広スパンを異なる架構の形で表現した。道路に面する棟は、内外を跨ぐ606mm×23フレームが連なるトンネル状の空間を形成し、道路から中庭へと視線が抜ける。建築と前庭・中庭・後庭の関係は重層的な空間を産み出し、見え隠れする様相は街の中に奥行を持たせている。

所在地：大阪府大阪市
用途：事務所
竣工：2021.07
構造規模：木造 平屋
木造2階建て

敷地面積：2,649.24㎡
建築面積：369.06㎡
延床面積：441.13㎡
写真：※1 絹巻 豊
※2 無有建築工房



敷地は駐車場を挟んで真ん中の土地であり西側から見上げるような立地である。建物は木造でありながらも2階のLDKボリュームがキャンティレバーで4.0m程跳ね出した設計とした。回り込むように玄関に誘うアプローチはもみじやハウチワカエデなど季節感を楽しみながら建物内部への期待を募らせるような造園計画となっている。象徴的なガラスに囲まれた洗面室兼浴室の天井はキッチンと繋がっていることで非日常的生活を楽しむことができる。LDKは周辺環境に開放的な空間となっているが、日々の生活をカーテンで緩やかに仕切ったり開放することができる。4年の歳月をかけた施主の思いが詰め込まれたこの住宅が、家族の絆をより深めてくれることを願っている。

所在地：大阪府豊中市
用途：専用住宅
竣工：2020.08
構造設計：うきょう建築
構造事務所
構造規模：木造
地上2階建
敷地面積：314.68㎡
建築面積：123.67㎡
延床面積：175.05㎡
写真：松村芳治



南北に隣り合っている二つの住宅である。それぞれに住む二つの世帯は親族であるが、尊重し合う別々の世帯としてそれぞれの家が求められた。一般的に、隣り合った敷地というのは敷地境界線で明確に区切られている。しかし街を観察すると枝が越境したり壁の位置が揃っていたりして、そこに弱い連続性を見出すことができる。そうした弱い連続性をヒントに、丁寧につなぎ合わせ関係性を縫い合わせるように設計を進めた。建物の建ち方についても街を参照することで関係が途切れないようにした。こうしてできた二つ建物は全く違った構成でありながら、室内から街並みまで様々なスケールでシークエンスが連続する、二つのような一つのような住宅である。

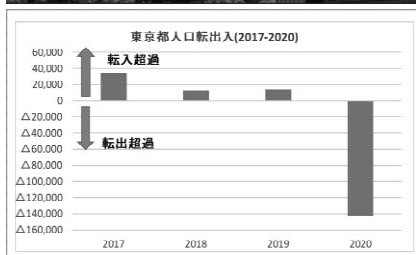
所在地：大阪府大阪市
用途：専用住宅
竣工：2019.04
構造規模：木造
地上2階
地下1階
敷地面積：168.00㎡
建築面積：69.60㎡
延床面積：119.59㎡
写真：繁田 聡

大阪府建築士 WEB 講習会

都市計画の最新動向と開発許可制度の運用・活用

東京から地方へ一極集中の是正、コンパクトシティなど

都市計画の最新動向と開発許可制度の運用・活用



資料：総務省住民基本台帳人口移動報告

本格的な人口減少社会に入り、持続可能な都市経営と地球環境、自然環境の保全などを目的にコンパクトシティ+ネットワークの形成に向け、立地適正化計画やの取り組みが進められています。一方で防災リスクに加え、コロナ禍におけるテレワークの普及による東京一極集中の是正の動きやデジタル化社会とスマートシティの取り組みが加速すると考えられます。

このような中、都市計画の最新動向に詳しい学識経験者、開発許可の行政担当者と実務に精通するコンサルタントを招いて、持続可能な新たな都市計画やまちづくりの方向性を展望するとともに市街化区域と市街化調整区域における新たな基準を含む開発許可制度の運用と具体的な活用に向けた講習会を開催しますので、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

内 容

※一部変更となる場合がありますので予めご了承ください。

時間	講義内容	講師
約5分	挨拶	大阪府建築士会
約70分	①人口減少時代における都市計画の課題 および都市像の在り方	九州大学工学部建築学科／大学院人間環境学府都市共生デザイン専攻・空間システム専攻 准教授 蕭 閔偉 氏
約25分	②大阪市における開発許可の運用～市街化区域編～	大阪市都市調整局開発調整部開発誘導課
約25分	③大阪府における開発許可制度の運用～市街化調整区域を中心として～	大阪府建築部建築指導室審査指導課
約30分	④都市計画・開発許可手続きにおける実務と留意事項	大手前建築基準法事務所

日 程

2022年3月18日（金）10：00～31日（木）終日

※夜間・土日も視聴可能！

講習時間 約155分

※事前に収録したものを配信させていただきます。

受講料

建築士会会員：3,500円 後援団体会員：4,500円 一般：5,500円

※建築士の賛助会員企業にご所属の方は、入会口数1口につき
1名様を主催団体会員受講料とさせていただきます。

申込方法

予約ページQRコード



クレジット決済ご希望の方	銀行振込ご希望の方
①予約ページにて、本講習会の予約ボタンをクリックしてください。 予約ページURL： https://www.aba-osakafu.or.jp/reserve/	
②申込様式へ必要事項のご入力、ご希望のお支払方法をご選択いただきお申込みください。	
③カード情報入力画面へ切り替わりますので、 必要事項をご入力ください。 自動で予約票と支払完了メールが返信されます。 ※メールが届かない場合は本会までご連絡ください。 ご利用可能なカード     	③自動返信された予約票に記載の 金融機関口座へ受講料をお振込みください。 ※金融機関の払込済票を本会領収書に代えさせて頂 きます。 ※予約票が届かない場合は本会までご連絡ください。
④決済（お振込み）確認後、開催前日までに視聴URLを送付いたします。 講習会の前日までにURLが届かない場合は本会までご連絡ください。	

※決済、お振込み後の受講料は返金いたしません。（当日参加されなかった場合も同様です。）

問合先

公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階

TEL：06-6947-1961 FAX：06-6943-7103

動作環境

配信ツールとして「Microsoft Teams」を利用します。PCの場合はインストール不要です。
お使いになる、機器・端末のOS・ブラウザとインターネット回線の状況を事前に確認ください。

【スマートフォン・タブレット端末をご利用の場合】

- ・OS iPhone/iPad：iOS 12.0 以上, Android：Android 7.0 以上
- ・ブラウザ iPhone/iPad：Safari, Android：Chrome、回線速度 下り700Kbps以上

【パソコンをご利用の場合】

- ・OS Windows 8 以降, Mac OS X (10.11 以降)
- ・Windows：CPU Core i5以上, RAM 4.0GB以上, Mac：CPU Core2Duo以上, RAM 2.0GB以上
- ・ブラウザ Microsoft Edge, 最新のFirefox, Google Chrome, Safari, Adobe Flash Player 10.1以上
- ・回線速度 下り700Kbps以上

※プロキシサーバーやファイアーウォール、ウイルス対策ソフトなどの設定によっては、回線速度が非常に遅い、あるいは必要な回線帯域を確保できない可能性がございます。その場合は、貴社内のシステムご担当者様へご相談ください。

操作方法

「Microsoft Teams」の詳しい操作方法は、申込み後に別途お知らせいたします。
また、操作方法の事前確認のため、講習会の数日前にテスト配信を行う予定です。
テスト配信につきましても、別途お知らせいたします。

受講の注意事項

- ・動画の著作権は、(公社)大阪府建築士会に帰属します。動画の一部または全部を、
- ・無断で録画、録音、転送、複製、転載、改変、配布、販売などを固く禁止します。
- ・動画の視聴により生じた、いかなる損害についても(公社)大阪府建築士会は、一切の責任を負いかねます。
- ・購入した動画プログラムを不特定または多数の人に視聴させることを禁止します。
- ・動画配信は告知なく終了または変更する場合があります。
- ・発生したデータ通信費用については、視聴者の負担となります。

CPDの付与

- ・セミナー終了後にアンケートを送付いただくことで、CPD単位が付与されます。

2022年 「建築人」作品募集

Gallery 掲載要項

Galleryとは…

公益社団法人大阪府建築士会は、会誌『建築人』を会員サービスの一環として毎月発行しています。発行部数は約3,000部で会員のほか、官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。この『建築人』では、毎号「Gallery」というコーナーを設けており、皆様の建築作品を掲載しております。皆様の作品を本誌へ掲載しませんか？

掲載費用

100,000円(1頁カラー)
*①：初回割引 80,000円
(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)
*②：若手初回割引 50,000円
(40歳以下で建築設計事務所を主宰されている方で*①を満たす方)

掲載概要

建築主、設計者、施工者、協力会社、所在地、用途、竣工年、構造規模、敷地面積、建築面積、延べ床面積

掲載記事内容

写真4点程度
説明文章：約300字程度

Gallery

山芦屋の家 設計：マニエラ建築設計事務所
施工：豊谷工務店



本敷地は山芦屋川沿いの閑静な住宅外に位置しており、敷地内に昭和2年に建てられた近代化遺産の蔵があり、当初よりこれを取り壊さずに活用して住宅を計画であった。敷地全体が築地蔵の蔵に囲まれて一定のプライバシーが確保されていることから、過剰では隠蔽的な開放性を持つ建物とし、お子様やご家族がいつも庭や自然と繋がっていられるようなプランが実現された。新築される母屋はモダンで軽快感のあるデザインとし、およそ100年前に建てられた蔵との重量感の対比、建築年代の差異が引き立つ。敷地の入口は市内にある建築家博物館を彷彿させる幾何学模様の門扉と、ライト設計の遊覧館と同じ大谷石張りの壁など、地域に根差した意匠の流れを汲んだ。

所在地：兵庫県芦屋市
用途：単独住宅
竣工：2021.02
構造規模：母屋 5.5坪
敷地面積：1,275.99㎡
建築面積：1,274.21㎡
延べ面積：444.80㎡
写真：下村孝典

建築人 2021.07 7

掲載作品は、同時に『建築人賞』候補に！

『建築人賞』とは

Gallery掲載作品は自動的に大阪府建築士会が毎年表彰している『建築人賞』の候補となります。(毎年1月号～12月号掲載作品)

『建築人賞』は、これまで13回を数える賞で、個人の審査委員長により選考します。

2022年は昨年に引き続き、建築ジャーナリストの磯 達雄さんをお願いしています。

賞には、「建築人賞」「建築人奨励賞」「建築人賞佳作」「建築人新人賞」があり、建築主、設計者、施工者に賞状が贈られます。さらに『建築人賞』の設計者の方には、記念品が授与されます。表彰は、5月(予定)に行われる建築士会の年次総会で表彰式を挙行しており、受賞される建築主、設計者、施工者の方に参加していただいております。



審査委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業
日経BP社入社「日経アーキテクチュア」編集部勤務(～1999年)
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師
2002年 フリックススタジオ共同主宰(～2020年)
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師
2020年～ Office Bunga共同主宰

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離隔距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。

感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

本年6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック塀等耐震化促進事業（補助金）における耐震評価機関となりました。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。

（業務内容）

耐震診断報告書の審査、評価

耐震補強計画案の審査、評価 等

（対象建築物）

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

（会員特典）

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

令和3年度建築士定期講習

3/10、3/16、3/31 CPD各6単位

3/30 CPD6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成30年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼DVD講義

日程・会場・定員

※3/10(木) 大阪府建築健保会館6階 45名

3/16(水) 大阪府建築健保会館6階 45名

3/31(木) 大阪YMCA会館2階 100名

時間 9:15～17:00

受講料 12,980円（消費税含。事前振込）

申込方法

申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。

（平成30年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。）

ご記入後、大阪府建築士会又は大阪府建

築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。

受付場所（送付場所）

※印の日程 大阪府建築士会事務局

※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。

https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/注）定員に達し次第、受付を終了します。

▼「WEB動画配信」による建築士定期講習各自都合のよい時間にWEB動画により受講いただき、修了考査のみ会場に来ていただく形式です。

修了考査日程・会場・定員

3/30（水）大阪府建築士会 1日3回各20名

受講料 12,980円（消費税含。事前振込）

申込方法

建築技術教育普及センターHPからWEB申込

https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/注）定員に達し次第、受付を終了します。

令和4年建築士試験案内

受験申込は、原則として「インターネットによる受付」のみとなります。

■二級・木造建築士試験

◇インターネットによる受付期間

令和4年4/1（金）午前10時～

4/14（木）午後4時

◇学科試験日 二級 7/3（日）

木造 7/24（日）

◇設計製図試験日 二級 9/11（日）

木造 10/9（日）

■一級建築士試験

◇インターネットによる受付期間

令和4年4/1（金）午前10時～

4/14（木）午後4時

◇学科試験日 7/24（日）

◇設計製図試験日 10/9（日）

※受験申込の詳細については、建築技術教育普及センターのホームページをご覧ください。

https://www.jaeic.or.jp/

令和3、4年度監理技術者講習

（監理技術者以外の方も受講可能）

3/9、4/27、5/27、7/6、9/2 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講下さい。

日程 3/9（水）、4/27（水）、5/27（金）、7/6（水）、9/2（金）

時間 8:55～17:00

会場 本会会議室

定員 各回20名（定員に達し次第締切）

受講料 WEB申込み9,500円

郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html

INFORMATIONの詳細は本会ホームページに掲載しています。本会の事業はホームページから申込できます。

【大阪府建築士会】大阪府中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階 http://www.aba-osakafu.or.jp/

メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

BIMの有効活用と最新動向『BIMポータルフォローアップセミナー』3/11 CPD2単位

※オンライン開催へ変更になりました。

本会賛助会員のグラフィソフトジャパン、福井コンピュータアーキテクトによるBIMの有効活用と最新動向をテーマとしたセミナーです。本セミナーは2021年9月に（公財）日本建築士会連合会ホームページで公開されていますBIMポータルサイトのフォローアップセミナーです。これからBIMに取り組み、更にBIMの活用を検討したい等、BIMの有効的な使い方や最新動向を説明します。

グラフィソフトジャパン

■セミナー2

『BIMを活用した建築確認の現状と可能性』

福井コンピュータアーキテクト

日時 3/11（金） 14:00～16:20

会場 WEB講習

（Microsoft Teamsミーティング）

定員 30名（定員になり次第締切）

受講料 本会会員1,000円 会員外1,500円

聖徳太子千四百年御聖忌に寄せて『聖徳太子と四天王寺』第二回 四天王寺の歴史と宝物講演と見学会

3/15 CPD2単位

シリーズ企画第二回は、四天王寺の歴史と四天王寺が所蔵する国宝・重要文化財の解説に併せ、宝物館や境内をご案内いただきます。四天王寺の歴史とともに、信仰のもとに生まれた多様な宝物をご紹介します。

日時 3/15（火） 14:30～16:30

会場 四天王寺 本坊 安養殿

定員 40名

参加費 会員1,500円 会員外2,000円

講師 一本崇之

四天王寺勧学部文化財係主任学芸員

WEB講習会「都市計画の最新動向と開発許可制度の運用・活用」3/18～31 CPD3単位（予定）

都市計画の最新動向に詳しい学識経験者、開発許可行政担当者と実務に精通するコンサルタントを招いて、持続可能な新たな都市計画やまちづくりの方向性を展望するとともに市街化区域と市街化調整区域における新たな基準を含む開発許可制度の運用と具体的な活用に向けた講習会を開催します。

日時 3/18（金）10:00～3/31（木）終日

会場 Microsoft TeamsによるWEB講習会

受講料 建築士会会員3,500円

後援団体会員4,500円

一般5,500円

耐震インスペクション委員会オープン勉強会古民家としての開放性を残しつつ性能を満足する「垂れ壁を用いた土壁構面の評価!」3/25 CPD2単位

大阪産業大学准教授の北守顕久先生より、自邸（K邸）を古民家改修の形で建てその構造設計を担当するにあたり、自身が研究として開発してきた要素や伝統工法の耐震性評価に関する考え方を取り入れ、古民家としての開放性を残しつつ性能を満足する、興味あるお話をいただきます。

日時 3/25（金） 18:00～19:30

会場 WEB講習

定員 50名（定員に達し次第締切）

費用 会員1,000円 一般2,000円

建築士会の「大阪市東」新入会員歓迎企画天王寺七坂めぐり～「悠久の歴史」と「桜」に触れるウォーキング～3/26 CPD単位（予定）

新入会員の皆様を歓迎いたします！大阪府天王寺区の南西部にある上町台地の斜面に、「天王寺七坂」と呼ばれている7つの坂があります。上町台地以外は全て海だった1500年ほど前の万葉の昔より、パワースポットとしても親しまれてきたこのエリアは、聖徳太子1400年御聖忌に沸く四天王寺をはじめ仏閣が多く残る寺町でもあり、著名人の墓や碑も数多く残る非常に風情のあるところ。そんな歴史スポットを桜の美しい季節に、悠久に思いを馳せながらゆっくりと散策してみませんか？

日時 3/26（土） 14:00～16:30

集合 天王寺区生国魂神社 13:30より受付

定員 20名（申込先着順）

参加費 会員500円 会員外1,000円

新入会員100円（令和3年4月～令和4年3月入会者）

その他のお知らせ

我が町「堺」再認識 堺歴史文化景観まち歩き3/27 CPD3単位

世界文化遺産百舌鳥古墳群について専門家と歴史文化を学び、風景を発見し、景観写真を撮影する堺歴史文化景観まち歩きを行います。

日時 3/27（日） 13:00～16:00

集合 13:00 中百舌鳥駅西側駅前広場（時間厳守）

定員 30名（申込先着順）

参加費 500円（青少年は15名まで無料）

申込期間 1/4（火）～3/11（金）

申込・問合 堺ユネスコ協会事務局

Tel.072-299-2323

会長動静

- 1/26 役員候補者推薦委員会
- 2/ 3 部門長面談
- 2/ 7 大阪府収用委員会
- 2/ 9 池田市長面談
- 2/10 運営部門会議
日中経済協会関西地区懇談会
- 2/13 大阪工業大学優秀学生表彰
- 2/16 理事会、正副会長会議
- 2/22 大阪府収用委員会

会長による府内市町村長との面談



左から宮田委員、岡本会長、瀧澤智子池田市長、田中副会長

今回の池田市をもって、大阪府及び府内43全ての市町村訪問を終え、本会の活動の紹介と行政との連携強化について貴重な意見交換を行うことができました。

2 月度 理事会報告

(1) 入退会の承認

(人)	1 月	入会	退会等
正 会 員	2,416	2	6
準 会 員	38	0	0
特準会員	27	0	0
賛助会員	142	1	0
計	2,623	3	6

(2) 会計報告

(円)	1 月計	累計
収入	17,419,069	125,767,223
支出	10,817,454	112,240,858
差引	6,601,615	13,526,365

上表の当期経常増減明細を承認した。

(3) 本年度収支の決算見込み

現時点での年度末決算を試算し、約 130 万円の赤字の見込みを報告しました。

長らく続くコロナ禍が本会事業に与える影響は大きく、決算までに好転する材料が少ない状況ですが、支出減など黒字転換への努力を継続します。

(4) 次年度収支予算（案）

各部門の提示額をもとに本会活動全体の予算案を調整し、収支額ともに 13,642 万円の規模で承認されました。

(5) 役員候補者選考委員会の選考結果

1 月 26 日の役員候補者選考委員会において、会長及び各部門からの推薦者 17 名及び 1 期 2 年の任期満了者 12 名の計 29 名の正会員から選考された理事候補者 23 名を定時総会に諮ることを承認しました。

(6) 日本国際博覧会協会との事業連携協定協会による若手建築家に万博施設の設計の場を提供する事業に、応募受付事務等の協力を行う連携協定を締結することを承認しました。

(7) 建築情報部門の提案

- ・「建築人」4 月号から増頁及びフルカラーとし、誌面の充実を図る。
- ・各委員会に IT 担当を置いて情報網を構築し、各事業等の IT 事案に対処できるよう人的充実を図る。

それぞれ会員増強やデジタル化の推進に繋がるものとして承認しました。

(8) 定時総会の広報準備

定時総会の案内に IT 委員会の提案による QR コードを加えて出欠回収に努めます。香山壽夫氏の記念講演のフライヤーとともに 4・5 月号に同封して広報します。

(9) 70 周年記念事業の協賛

記念事業の協賛は 184 社に依頼し、現在 13 社の回答です。今後も役員・委員に協賛企業の紹介をお願いしました。

クラウドファンディングの実施結果

本会では平成 10 年より地域貢献活動助成を行ってきました。

建築士と地域住民が協力し安全・安心で住みよいまち、優れた景観や歴史を継承するまちを実現することにより市民が豊かな生活を送るための持続可能な仕組みづくり目指しています。

このため、12 月より 2 月にかけて全国の建築士会でも初めてのクラウドファンディングを実施し、多くの方々のご支援を募ることとしたところ、延べ 75 名の方々から 385,500 円のご支援を頂きました。また、この趣旨に賛同いただき全日本不動産協会大阪府本部より、50,000 円のご寄附をいただきました。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。今後、これらのご支援もとに地域のまちづくり活動に建築士が地域住民の方々と協力して取り組んでまいります。

建築関連学校優秀卒業生 15 名を表彰

本会では毎年、建築業界の将来を担う優秀な学生を表彰し、卒業後の励みとして一層の精進を重ねていただくため、建築関連学校の優秀卒業生を表彰しており、今年度は 15 名の卒業生を表彰します。本年度の表彰者在籍校は、大阪大、大阪市大、大阪芸大、大阪工大、関西大、近畿大、摂南大、大阪工技専、中央工学校 OSAKA、修成建設専、日本理工情報専の 11 校 15 学科です。

第 65 回大阪建築コンクール審査状況

今年で 65 回を迎える本会主催の大阪建築コンクールは、1 月 31 日で応募受付を締め切り、大阪府知事賞部門 34 件、渡辺節賞部門 11 件の申し込みがありました。2 月 14 日に京都工芸繊維大学教授の長坂洋審査委員長他 4 名から構成する審査委員会において書類審査を実施し、大阪府知事賞部門 9 件、渡辺節賞部門 4 件を選出しました。今後、3 月 4 日・3 月 10 日に現地審査・最終審査を行い、入賞者を決定します。

泉佐野市鶴原特定空家撤去工事行政代執行の終了宣言

期間：令和3年10月26日～令和3年12月27日

場所：大阪府泉佐野市鶴原1316-13他

杉本哲雄（泉佐野市鶴原特定空家撤去工事・工事監理者）



皆さん、特定空家という言葉をご存じでしょうか？特定空家とは、そのまま放置すれば倒壊等著しく危険な状態、著しく衛生上有害な状態、著しく景観を損なっている状態、周辺の生活環境の保全を図るため放置出来ない空家等をいいます。国が、放置することが出来ないということで平成27年に空家等対策の推進に関する特別措置法（以下「特措法」）が施行されました。特別措置法ですので、普通法より最優先で取り組むことが必要で、特定空家等に対しては、除却、修繕、立木竹の伐採等の措置の助言又は指導、勧告、命令、強制執行が可能となっております。

泉佐野市も特措法に基づき、空家等対策計画策定、空家等対策協議会の設置など、特に特定空家の寄付受け制度の創設は、空家対策の積極さが伺えます。

令和3年10月26日泉佐野市は、倒壊の危険性が高い同市鶴原の空家について、特措法に基づく行政代執行で、解体・撤去を始めました。この解体

撤去について、本会は、そのほぼ全部を包括協定により受託しました。特措法による行政代執行は、泉佐野市内では初めてで、府内では、2例目。鶴原の特定空き家は、15年以上も長期間放置された住宅・工場であり、屋根や外壁脱落し、立木が生い茂り、工場棟には、有害物資が放置され、しかも敷地が公道に面して無い状態にあり、地元の自治会も火事等不安に思っていた様です。この日午前9時に市職員が行政代執行の開始宣言を行いました。



行政代執行の開始宣言



施工前の写真

包括協定の受託内容は、キューピクルにあるPCB調査等、スレート葺屋根に含有するアスベスト、土壌調査、撤去前の隣地家屋の事前調査、事後調査、撤去工事、防犯警備、動画記録、撤去跡地土地利用検討などです。私は、工事監理を担当し

ましたが、受託内容にほぼ全部に関わりました。この様に幾多の課題がありましたが、特にPCB処分が印象に残っています。事前調査において、コンデンサーや変圧器のメーカーラベルがPCBの濃度判定に有効です。ところが、ラベルが汚損されており、解読出来ないとか、ラベル写真撮影がうまく撮れていなくて2度3度と手間がかかりました。結局、全部低濃度以下でしたので、特別管理廃棄物として焼却処分としました。その外、動画記録を本会会員に協力して頂き実施した事です。工期が約2か月間に会員と撮影日調整が大変でしたが良い経験でした。令和3年12月27日無事に撤去工事も完了し、市職員が行政代執行終了宣言を行いました。



行政代執行の終了宣言



撤去工事の完了写真

『大阪市高齢者住宅改修給付事業 事業審査』について

大阪市高齢者住宅改修給付事業の審査業務を、本会が大阪市より受託するようになって5年になります。現在、要支援高齢者の住宅改修に介護保険の利用が可能ですが、この事業は介護保険の対象以外で対象者に必要と認められる工事について、大阪市の工事費を給付するというものです。介護保険を使っただけの住宅改修と同時に工事を行う事が条件であり、本会女性委員会のメンバーが中心になり、申請内容が制度の要件を満たしているか、金額も含め工事内容に問題は無いかなどを審査する業務を行っています。令和3年度の審査実績は、1月末の時点で54件であり、昨年同時期の審査実績62件とより6件少なくなっています。工事内容では浴室の改修が最も多く、次に便所が続きます。深く入りにくい浴槽を浅型に取り替えるに伴い、給湯器を取り替える内容の他、新たにシャワーを取り

付けるという内容もあります。便所の場合、ほとんどが和式便器を洋式便器に替えるというもので、その場合介護保険とこの制度の工事範囲を按分計算により求める必要があります。浴室、便所以外は、今年度は洗面台の高さを変える工事が2件、階段昇降機の取り付けが1件ありました。階段昇降機の場合、建物が4号建物以外であれば、昇降機として確認申請の提出が必要になるので注意が必要です。

書類の不備では、理由書の内容の不足と按分計算の不備が多く、必要に応じて書類の修正を指示しますが、1回で終わらず、何度もやり取りを繰り返してようやく決裁に至るというものが少なくありません。業者とのやり取りの中で、申請者である高齢者がどの程度工事内容を理解しておられるのか、正直疑問に思う場面も多々あるのですが、必要に応じて行う訪問調査の際

に、改修工事に期待している、もしくは工事が終わって満足している高齢者にお会いする毎に、この制度が持つ意義の深さを認識し、適正な履行に向けて、私達審査員が担う役割の大きさを改めて感じます。

10名の審査員が2名一組を基本とし、週2回事務局内で業務を行っています。受託は毎年入札で決まりますので今後の継続は不確定ですが、続けられる限り真摯に業務に臨みます。



山本尚子（女性委員会委員）



90年前のタイム・カプセルが開封されて

聖母女学院（現・香里ヌヴェール学院） 一九三二年

文・写真＝松隈 洋「京都工芸繊維大学教授」

二〇二〇年春に始まった新型コロナウイルスの感染拡大が依然として収まらず、リモートによる不自由なゼミ活動を続けていた二〇二一年の十月中旬、大阪府寝屋川市にある香里ヌヴェール学院副校長の田村かすみさんから突然の電話が入った。聞き慣れない校名に戸惑っている、「二〇一七年に共学校となり、校名は改称されましたが、聖母女学院です。レーモンド設計事務所の三浦敏伸所長の紹介で……」と言われてすぐに思い出した。アントニン・レーモ

ンド（一八八八―一九七六年）の設計で、一九三三年に竣工した聖母女学院である。過去に二度、見学に訪れたことがあり、本連載でも取り上げている。お尋ねすると、三年前に着任された田村さんは、ある日、倉庫の片隅に人知れず保管されていた青焼きの設計図を発見する。初めて見る手描き図面の緻密な美しさに魅せられて、これは貴重なものだと直感し、傷まないうちに記録に残しておきたいと考えた。しかし、大判サイズでとても手に負えず、三浦

小体育館の南側からの現状外観



一九三七年竣工時の内観、杉山雅則旧蔵資料



所長に相談したという。たしかに、私の所属する美術工芸資料館には、収蔵品の電子データ化のための大型スキャナーがあり、村野藤吾建築設計図展でも使っていた。こうして、話はトントン拍子に進み、十一月初旬に、約六十枚の青図が、同校の池田靖章学院長の運転する車で運び込まれた。しかも、話はそれだけでは終わらなかった。数日後、これらの青図とは別に、木製二箱に納められた大量の設計資料が新たに見つかりました、と連絡が入ったのだ。そこで、コロナが小康状態だった十二月に、学生たちと二度学院へ乗り込み、資料整理と確認作業を行なった。実は、この突然の依頼に、またとない貴重な機会だと喜んだのは私の方だった。というのも、聖母女学院の設計の初期段階には、若き前川國男（一九〇五―八六年）が携わっていたからだ。

前川は一九二八年四月に渡仏し、ル・コルビュジエのバリのアトリエに学び、丸二年間の修行を終えて一九三〇年四月に意気揚々と帰国する。しかし、運悪く時代は昭和恐慌の只中で就職先は見つからず、東京本郷の実家に居候しながら、商業コンペに挑み、ル・コルビュジエの著書『今日の装飾芸術』（構成社書房一九三〇年十月十八発行）の翻訳で糊口をしのぐ苦しい日々を送っていた。ようやく八月に丸の内のお濠端に建つ東京海上ビル新館六階にあったレーモンド建築事務所に入所できたのである。二五歳だった。

一方、レーモンドも、ル・コルビュジエに学んだ前川を所員に迎えることに大きな期待を抱いたに違いない。一九二一年にF・L・ライトの下から独立し、彼の作風からの脱皮を模索していたレーモンドにとって、世界の最前線を走るル・コルビュジエの思想と方法を前川経由で手に入れることを意味したからだ。その成果は、早くも一九三二年に、赤星喜介郎と東京ゴルフクラブに結実する。因みに、赤星邸は、前川よりもさらに若い二四歳の吉村順三（一九〇八―九七年）が担当している。



星のや東京(アプローチ)に「黒陶いぶし瓦」使用



淡路瓦イズム

『黒陶窯変タイル』

株式会社 ミハラ

<http://www.ibusiyaki.com/index.php>

取材：河合哲夫／建築情報部門委員

400年の歴史を持つ淡路瓦は「淡路瓦イズム」を通し、これからの時代に社会から必要とされる瓦づくりに挑戦を続けています。今年も淡路瓦イズムを実践している会社を紹介しします。

「欧州における日本文化の発信拠点として、外務省がロンドンに設置したジャパン・ハウス・ロンドンに、株式会社ミハラが製造する黒陶窯変タイルの敷瓦が15000枚採用されました。」同社代表取締役嶋本宏信氏は、そう紹介してくれました。

黒陶窯変タイルは、瓦の可能性を広げるために同社が開発した、内外装材です。「なめ土」と呼ばれる粒子の細かい良質な淡路の粘土が、淡路瓦の高い質を生み出してきましたが、焼成温度は1000度前後と、他の産地に比べると低い温度で生産されることに特徴があります。嶋本代表取締役は、これを1100度以上の極限まで高い温度で焼き締めることで、強度が高く、耐摩耗性、耐凍結性に優れ、吸水率の低い材料に仕上げる技術を開発しまし

た。また、焼成温度を自在に操る技術も確立したことで、炎が生み出す黒、茶、赤の独特な窯変による新しい瓦の素材感を獲得したのです。ジャパン・ハウス・ロンドンの床材に採用されている黒陶窯変タイルは、瓦独特の鈍く光る黒い床材で、その緊張感のある表情は、日本の伝統的な美意識を表出しながら、現代的で先進的な日本のクールな空気感を醸し出しています。それは、「幅広い層に向けて日本の多様な魅力、政策や取組を伝え、親日派・知日派の裾野を拡大していくことを目的」とするジャパン・ハウスのコンセプトに相応しいといえるでしょう。

屋根瓦の需要が伸び悩むなかで、瓦の市場を拡大させるために8年もの歳月をかけてこの黒陶窯変タイルは開発されたといいます。その試行錯誤の中では、「空気とオイルの量のバランスが悪く、爆発してしまったことも。窯の蓋が吹き飛んで、爆風で全身真っ黒になり、一歩間違えば命を失っていました」と嶋本代表取締役は語ります。

黒陶窯変タイルを生み出したのは、焼成温



度の改変だけではありません。土の内部に残る水分を十分に抜きながら焼成する技術により寸法精度の向上を実現し、従来の瓦においては製作寸法精度が5mmであったところを3mm以下に抑えることに成功。不良率0%を達成しました。さらに、より高い製品のニーズに応え、かつ生産性を向上させるために、寸法精度を1.5mmに抑えることを目標として、自動切断機の改良に取り組んでいます。

瓦の進化は、それを生産する機械の進化によって実現します。株式会社ミハラの挑戦は、まだまだ続きます。

黒陶窯変タイルをはじめ、瓦の魅力は、同社のホームページで紹介されています。ぜひ一度ご覧ください。

■淡路瓦のお問い合わせ先
淡路瓦工業組合
兵庫県南あわじ市湊134
Tel.0799-38-0570 Fax.0799-37-2030
info@a-kawara.jp
<http://www.a-kawara.jp/>



堂島川に沿って弓なりに伸びる外観。エントランスには、「永遠の青春」をモチーフとした青リンゴのオブジェが設置されている。



建物内部は、全面本棚の壁で囲われた三層吹き抜けの空間が広がる。